



諸遊壊司議員

遊休農地解消施策は

積極的前向き支援を考える

問 安全な農産物を食べたいという要望に反比例しながら、年毎に拡大する遊休農地(耕作放棄地)解消に、やっと国も県も本腰で取り組む姿勢になった。

解消するため、農地の復元費用にどの程度(割合)

答 国・県・町また個人が負担するのか。そして復元した農地には、町の特産品としてのどのような作物の作付けを指導するのかなど、行政は具体的な施策を示すべきであると思う。

規約・条件を決め、希

望される農家が農業委員会を通して賃貸の契約をすれば、町・農家・建設会社も上手くいくのではないか。

答 (田中定農業委員会会長) 現在遊休農地は、国営事業で33haある。

これ以上遊休農地を増やさないための活動(パトロール、広報活動、農家相談)を積極的に行っていく。

答 (山口町長)

遊休農地を解消していくことは、農業の振興だけでなく、町の美観、環境を守るという意味でも大切なことであり、積極的な前向きな支援を考えていく余地が十分にある。



増えつづける遊休農地

大山賛歌体操の普及は

普及員の養成から

問

町民愛唱歌「大山賛歌」のメロディーに合わせ、健康づくりや介護予防に役立たせるため、2種類の体操が制作された。町では、地域で行う健康教室や各種イベント・ケーブルテレビ放送で紹介し普及に努めるとあるが、体操の講習を終了時に、DVDやビデオテープを講習修了証という形で無償配布されたら、より早く町内にこの体操が行きわたったり、町民の健康度が増すと思われる。特にアンケートから見た町民の健康意識度は低い。

答

4月から始まる特定検診でメタボリック該当者や予備軍を減らすことにより、後期高齢者支援金の減算や加算へもつながり、早急な普及が必要になると思うが。

答 (山口町長)

まず普及員養成のため、介護施設と健康づくり関係団体を対象に講習会を実施し、その後、福祉保健課と地域包括支援センター職員が指導者となり広く町民に向けて講習会を随時開催する。

県の事業で、大山賛歌



まずは普及、大山賛歌体操

体操のDVDを制作する予定があるので、大山町のPRのためにも、これが実現できるように、県と調整を進めている。

基本健康診査のアンケート結果(18年度)

◆食習慣(早食い、いっぱい食べる、食事不規則の人)	大山町 33.0%	鳥取県 29.7%
◆運動(運動不足、運動習慣なしの人)	大山町 93.1%	鳥取県 71.3%
◆歯の手入れをしない	大山町 6.1%	鳥取県 3.9%
◆不眠の訴え	大山町 33.5%	鳥取県 28.5%